

黄海地区住民自治協議会だより

第18号

発行：黄海地区住民自治協議会
発行日：平成30年11月28日

黄海地区住民自治協議会だより 第6回理事會終了

当協議会の第6回理事會は10月31日、藤沢市民センター黄海分館で開催し、各自治會長、理事、事務局あわせて20人が出席しました。開会を須藤副会長が、挨拶を葛城会長が行い、報告事項では9月29日の遊水池見学会と10月に行つた3回の産業部会、10月22日の市議會議員との懇談会について報告がありました。

協議事項では、生涯部から黄海小学校収穫祭への参加と黄海ながよし文化芸能祭への協力について、産業部からは軽トラ市の



チャリティー軽トラ市に13台が出店

当協議会主催のチャリティー軽トラ市は11月24日、藤沢市民センター黄海分館前庭で開催されました。この軽トラ市は、黄海地区の各種産物を広く地域住民に知ってもらおうと産業部が主体となって今年初めて開催したもの。午前10時の開会行事では主催者挨拶のあとテープカットも行いました。開会と同時に会場には多くの地域住民が訪れ、13台の軽トラックの荷台に並ん

で開催について、治水対策部からは要望活動の状況について報告と依頼がありました。その他では黄海地区地域づくり計画をまとめ11月の理事会に提案することができました。出席した理事からは、藤沢地域での物損事故が多いことや黄海小学校収穫祭に多くの地域住民に参加をお願いしたいことなどの話題が出されました。午後7時54分、佐々木副会長が閉会して解散しました。



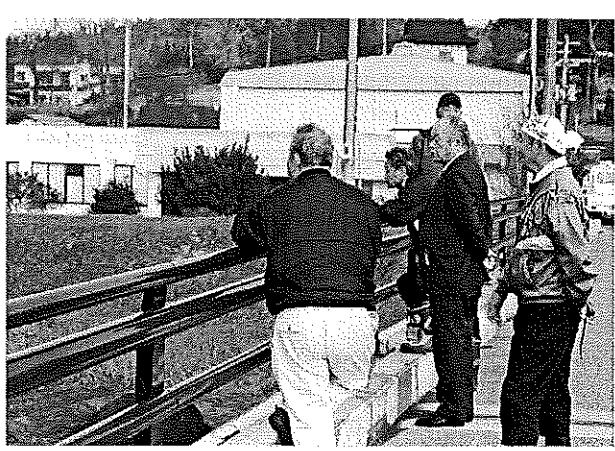
黄海川をバトロール

当協議会治水対策部の黄海川パトロールは11月25日、治水対策部員など6人が参加して黄海川の元町橋から大木下まで間をパトロールしました。パトロールは黄海川の清流化に向けた活動の一環で、今回の調査で見つかった川岸の樹木に引っかかっているビニール袋などのゴミの清掃作業を来年3月に行うこと

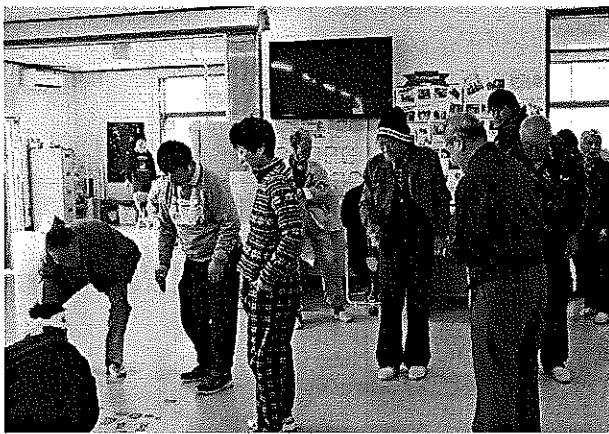
で確認しました。

黄老連とワーキングヨイらじの実交流

黄海地区老人クラブ連合会とワークジョイふじの実との交流会は11月17日、黄海字町裏のワーキングジョイふじの実と藤沢市民センター黄海分館で開催されました。この催し物は、黄海地区的老人クラブ会員とワーキングイふじの実利用者との交流が目的で10年ほど前から続いているもので、今回は昔の遊びと昔話をテーマとして開催されました。今年の交流会にはワーキング



から利用者と職員約40人、黄海地区の6つの老人クラブから約40人のあわせて約80人が参加。ワークジョイふじの実での開会行事のあと利用者とクラブ会員はコマ回しやバッタ(メンコ)打ち、拳玉やおはじき、お手玉を使った昔の遊びを楽しみました。その後、伝説として黄海に



伝わる「まさぼう滝」と増沢に伝わる「石になった和尚さん」の手づくり紙芝居を見たり、昔話や思い出話を聞いたりしました。最後は、黄海分館に移動してワークの職員と女性会員が作ったカレーライスを全員で食べ、



利用者代表の2人から感謝の言葉が述べられました。



このうち舞台部門の第31回郷土民俗芸能発表会チャリティーショーは初日の23日、耐震工事で黄海体育館が使用できないために黄海分館の和室で開催され、多くの来場者が神楽や民俗芸能、民謡、舞踊などを楽しみました。

3回黄海なかよし文化芸能祭(黄海地区住民自治協議会後援)は11月23日と24日の2日間、藤沢市民センター黄海分館を会場に開催されました。

盛況に黄海なかよし文化芸能祭開催

黄海民謡舞踊愛好会主催の第

展示部門は、23日と24日の2日間に、黄海分館会議室とロビーを会場に黄海地区の皆さんに黄海地図、書道、パッチワーク、陶芸、ホビークラブ、押し花、ビーズアクセサリー、短歌、山野草、箒などの作品が所狭しと並び来場者を楽しませていました。

また、口ビーの特別展では黄海川治水対策と北方基盤整備に関する資料展示も行われました。

